

分科会報告 ⑤-2

1. コーディネーター 渡部智子

2. テーマ

〈この人生で果たしたいこと・仕事〉

3. 参加者 9名

宮城県5名 山形県2名(1名欠席) 福島県2名

4. ディスカッション内容

はじめに～ 既に着席の方々が多かったこともあり、開始前の数分間、皆さんに当グループテーマについてのご自身のキーワードをひと言頂きました。そのキーワードは以下の通りです。

①応援 ②100年時代をワクワク生きる ③人と人をつなぐ・健康であり続ける ④外資系CAとなって世界の色々な国に行きたい ⑤自分の信頼を取り戻し楽しく生きる
⑥家族経営の中で事業承継も含め自分の果たせる役目・すべき事 ⑦楽しく生きること＝仕事 ⑧ワークライフバランス

開始後は、約1分間の自己紹介の中で、お名前と共に〈なぜ、このテーマを選んだのか〉をお話しして頂きました。キーワードと併せ皆さんと一緒にシェアする形で進行、10代から60代と幅広い年代、また、学生、会社員、専業主婦、経営者等、様々な肩書の皆さんならではの意見が出ました。若い年代からは、社会人になる前の学びの今、なりたい夢を見据え進行中との具体的な目標の方。また、社会人となって会社内で女性としてのバランスをいかにして行くかという方。自立、結婚に至り自身と向き合うことにより益々自他を知りたくなったという方も。とてもしっかりした内容に皆さんから素晴らしいと称賛の声が上がりました。

一方、既に子どもが自立し介護を経験した年代の方々からは、夢中で生きて来たがこれからの人生生きして目一杯前向きに楽しみたい、人との出会い、趣味を楽しむ為にも外へ出ることを心掛けたい、これからは人の役にたち世話をする人になりたいといった意見が多く出ました。仕事としては、家族経営の会社をいかに事業承継するかということに対し家族ならではの視点を変えることのアドバイスも。また既に起業された方は人との出会いが財産、人と人の縁をつないで行きたいとお話しされました。人生経験を経て来られた方々ならではの力強い内容に、皆さんも頷きながら聞き入りました。

まとめ

今年始めに、この1年をどう過ごしたいか考えた方が数名おられ、自分は何を果たしたいのだろうかと考えて来られた方が多かったようです。女性ならではの何度かの人生の節目を前向きに柔軟に進んで行きたい、という思いが伝わってきました。今回、自らの果たしたいことを言葉に表し皆さんとお話したことで、より、明確になっていく良い機会になったとの感想も聞かせていただきました。ご参加の皆さん、活発な意見交換を頂きありがとうございました。